

下関市公共施設マネジメント推進委員会（第1回） 議事録（要旨）

日時：平成27年10月13日（火） 14:00～16:30

場所：本庁舎新館5階 506・507会議室

参加者：（委員会）杉浦会長、齊藤副会長、永尾委員、松原委員、山西委員
（事務局）本間副市長（委嘱状交付及び冒頭あいさつ後退席）
松崎総務部長、小野総務部理事、
内田行政管理課長、笹野行政管理課主幹、
藤井行政管理課長補佐、魚住行政管理課主任
（傍聴者）1名（次第7(2)から）

【内容】

次第5. 会長、副会長選出

委員）地域政策や産業立地論に長けた杉浦委員を会長に、中国税理士会の常任理事であり、多くの会員を束ねる支部長でもある齊藤委員を副会長として推薦したい。

→会長を杉浦委員、副会長を齊藤委員とすることを承認。（全委員）

次第7. (1) 会議の公開・非公開について

事務局）下関市では附属機関の運営の指針により、法令等により特別の定めがないかぎり、原則公開となっている。そのためこの会議についても公開が望ましいと考えている。答申を頂いたら議会にその内容を報告するとともに、会議録も公開する予定である。

→公開とすることを承認。（全委員）

会長）次回からは開催日時等については、あらかじめ事務局にて市ホームページ上で告知したうえで議事を進行していく。

次第7. (2) 公共施設の現状について

事務局）資料に沿って説明。

→質問等なし。（委員）

次第 7. (3) 公共施設等総合管理計画の説明

「第 1 章 下関市公共施設等総合管理計画について」

「第 2 章 現状と課題」

「第 3 章 基本的な方針」

「第 4 章 施設用途別の方針」

「第 5 章 本計画の管理の仕組み」

事務局) 資料に沿って説明。

会 長) それでは全体を通じて何か意見があればお願いします。

委 員) 「第 4 章 施設用途別のマネジメント方針」は抽象的で具体性が無い。この方針で、どうやって施設を 3 割削減しようというのか？それと、本庁舎新館が竣工したが、なぜ利便性が大事なコンビニや銀行が 4 階にあるのか。また、1 階のホールは広く、今後はこういったことを無くし、有効活用すべきである。また、公共施設マネジメントを推進する上では、下関市の活性化のためにも、是非、「地産地消」、「地元優先」などの仕組みを検討し、市が潤う施策を行って欲しい。

→総合管理計画では、「第 4 章 施設用途別のマネジメント方針」は、基本的な方向性を示すもので、具体的なものは次のステップでと考えている。本庁舎新館 1 階ホールの利用等については、所管課と相談しながら、有効活用について検討したい。(事務局)

委 員) 施設総量については縮減目標を 30%以上としているが、今後の人口減少等にだけ着目しての縮減目標でよいのか。対象となる施設を積み上げるなどして、縮減目標を立てるべきではないか。

→これまで人口が増えるのに合せ、市民ニーズを踏まえ施設整備を行ってきた経緯がある。今後、人口が減少する部分については、施設の総量も減らさなければならない。計画も 20 年で終わりではなく、30%以上の縮減で良いとも思っていない。今後、計画を進行管理する中で、基本目標の考え方については、見直しを行うなど検討したい。なお、施設ごとの今後のあり方については、次のステップで検討して行くことになる。(事務局)

委 員) 私も、「施設用途別のマネジメント方針」は、具体的でないと感じた。また、民間アパートでは空き部屋が多いが、一方で、個別のマネジメント方針では、市営住宅の需要があるような記述も見られる。私の実感として、

市内には、空き家、空き室が多いと感じる。市営住宅や学校などは、具体的な計画を立てるべきと思う。

→総合管理計画は、施設用途別に基本的な方向性を定める計画であり、住宅や小中学校にはそれぞれ個別の計画がある。その他の公共施設については、今後、施設評価を行い、施設所管課とも協議しながら、具体的に検討していくことになる。(事務局)

次第 8. 「次回開催日程について」

事務局) 次回の開催は、平成 27 年 10 月 19 日 (月) 午後 2 時 00 分から、本庁舎本館増築棟 6 階南会議室にて開催する。

次回の進め方については、計画案の計画期間、基本目標、基本的な方針、施設用途別のマネジメント方針、本計画の管理の仕組みを中心に議論して頂き、ご意見を頂きたいと考えている。